



□■□ 事故防止メルマガ「Think」

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <http://www.think-sp.com/>

// INDEX //////////////////////////////////////

- 1・2015年2月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～交通事故の損害の大きさを指導していますか2
- 3・交通事故の裁判事例～無灯火自転車との交通事故
- 4・今日の朝礼話題～「インターバル速歩」で運動不足を解消しよう
- 5・【新発売】小冊子「『酒気残り』による飲酒運転を防ごう」
- 6・【新発売】小冊子「ドライバーの心をつかむ管理者の言葉」
- 7・交通安全教育用DVDのご案内

// //////////////////////////////////////

★2月後半の安全管理ごよみ

◆16日（月）～22日（日）

——アレルギー週間

◆24日（火）～27日（金）

——2015産業安全対策シンポジウム

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<http://www.think-sp.com/2015/01/13/kongetsu-untenkanri-15-2/>

■危機管理意識を高めよう

「交通事故の損害の大きさを指導していますか2——電柱倒壊事故」

交通事故は人身被害のない場合やちょっとした接触でも、トラックなどの衝突では損壊が大きく、社会的影響を与え、多額の損害賠償責任が発生することがあります。

今回は、社会的影響の大きかった「電柱倒壊」事例を紹介しています。指導の参考にしてください。

【続きを読む↓】

<http://www.think-sp.com/2014/12/15/kikikanri-jikono-shakaitekisongai2/>

■交通事故の裁判事例

今回は、横断歩道を走行中の無灯火自転車との事故について、無灯火の影響は皆無として、無灯火自転車の過失相殺を認めなかった判例を取り上げます。

『無灯火自転車との事故で自転車側の過失を認めず』

【事故の状況】

平成18年11月8日5時30分ごろ、Aは普通乗用車を運転して高山市内の信号交差点を左折しようとしたところ、前から横断歩道をライトを点灯させずに走行してきたBと衝突し、第二胸椎圧迫骨折等の傷害を負わせました。

この事故により、AはBにも無灯火で横断歩道を通行してきた過失があると、10%ないし25%の過失があると主張しました。

これに対して、裁判所は次のように述べて、Bの過失相殺を認めませんでした。

【裁判所の判断】

◆横断歩道の通行について

「Bは、横断歩道上を自転車で走行しており、それ自体は道路交通法に違反している。しかし、横断歩道を自転車で横断することが一般的な状態になっていることからすれば、自動車の運転者は横断歩道を横断する自転車も横断歩道上の歩行者と同様の存在であるから、自転車が横断歩道を走行していることのみをもって、自転車側の過失として過失相殺するのは相当ではない」

◆無灯火について

「Bの落ち度は、夜間であるにもかかわらず無灯火であったという点であるが、夜間とはいえ、11月8日の午後5時30分ごろはまだそれほど暗い時刻ではない上に、事故当時車が多くそれらの車の照明により、またA車が前照灯をつけていたことにより、自転車の発見には支障がなかったものと推認される」

「Bは、Aの対向から横断してきたのであり、双方とも時速10キロ程度の低速であったことからして、Aがわずかな注意を横断歩道上に向けるだけでBを安易に発見できていたと考えられる」

「にもかかわらず、衝突直前まで自転車を発見できなかったのは、考え事をしていて安全確認をまったく怠っていたからで、自転車の無灯火の影響は皆無というべきである」

として、自転車の過失相殺を認めませんでした。

(名古屋地裁 平成22年7月2日判決)

■今日の朝礼話題

『「インターバル速歩」で運動不足を解消しよう』

日常的に車に乗っている人は、運動不足を感じている人が少なくないと思います。とくに、バス、タクシー、トラックなどの職業ドライバーの方は深刻な問題ではないでしょうか？

そこで、今日は信州大学の能勢教授が推奨する「インターバル速歩」を紹介します。

【続きを読む↓】

<http://www.think-sp.com/2015/02/02/tw-interval-walking-training/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にさせていただける「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。

（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<http://www.think-sp.com/about/>

■【新発売】小冊子「『酒気残り』による飲酒運転を防ごう」

※仕様 B5判／16ページ／カラー刷
※価格（5冊セット）756円＋税（送料実費）

本誌は川崎医療福祉大学の金光義弘教授の監修により、「酒気残り」による飲酒運転を防ぐための防止策をまとめた教育教材です。

「仮眠による落とし穴」や「一晩寝たの落とし穴」など4つのケースを取り上げ、酒気残りの「落とし穴」に陥りやすい運転者心理を明らかにするとともに、最新の科学的データを交えてわかりやすく解説しています。

【詳しくはこちら↓】
<http://goo.gl/OKZzZh>

■【新発売】小冊子「ドライバーの心をつかむ管理者の言葉」

※仕様 A4判／16ページ／カラー刷
※価格（5冊セット）1,000円＋税（送料実費）

本書は、管理者の皆様方がドライバーの方々を指導される際に、ドライバーの方々に納得していただき、安全運転に導くためのヒントが得られる6つの事例をマンガで紹介した、管理者のための参考書です。

【詳しくはこちら↓】
<http://goo.gl/qhhTHK>

■交通事故防止教育用DVDのご案内

シンク出版では、ドライバーの方々や、管理者様への教育用DVDを多数取り揃えております。弊社ホームページにおいて内容を詳しく紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

【交通事故防止教育用DVDのご紹介↓】
<http://goo.gl/7CGgzZ>

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】
<http://goo.gl/5G5iL>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

（平成27年2月2日送信）

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。

■□—————□■
～人と車の安全な移動をデザインする～
シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15ビアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <http://www.think-sp.com/>

